

令和3年度（令和3年度補正予算）

林業経営体・林業労働力強化対策のうち 林業労働力強化対策事業概要

1. 事業の目的



令和3年度林業経営体・林業労働力強化対策のうち林業労働力強化対策事業告知を行ったチラシ

総合的なTPP等関連政策大綱を踏まえ、新たな国際環境の下で、原木供給の低コスト化を含めて合板・製材の生産コスト低減を進めることにより、競争力の強化をはかることが求められています。

林野庁は体質強化計画⁽¹⁾に参画する選定経営体等⁽²⁾に対し、国際競争力強化などを見据えた経営体の強化対策として、安全で衛生的な職場づくりを通じた林業労働力の確保に向けた取り組みを推進しています。

本事業は体質強化計画に参画する林業経営体等を対象に、林業安全衛生装備・装置導入経費と労働安全衛生に関する研修経費の助成を行って、安全で衛生的な働き方改革を実践する職場づくりを推進

し、林業労働力の確保に向けた取り組みを支援しました。

なお、事業の実施にあたっては、林業労働安全衛生についての知見を有する学識経験者等で構成する企画運営委員会を設置して、事業方針と導入する安全衛生装備・装置の内容・普及啓発の方法、ならびに研修方法などについて企画検討を行って事業を推進しました。

- (1)【体質強化計画】川上から川下の関係者が共同して作成する加工施設の整備、原木の安定供給等に関する計画
- (2)【選定経営体等】効率かつ安定的な林業経営や林業経営の継続性の確保を目指す林業経営体として、林野庁長官が別に定める考え方（「林業経営体の育成について」（平成30年2月6日付け29林政経第316号林野庁長官通知））

目次：

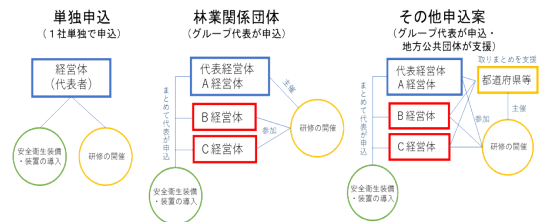
- 1. 事業の目的 1
- 2. 事業概要と予算・申請者 1
- 3. 導入された安全衛生装備・装置の概要 2
- 4. 実施した安全衛生に関する研修の概要 2

2. 事業概要と予算・申請者

体質強化計画に参画する選定経営体等を対象に、安全衛生装備・装置の導入および労働安全衛生に関する研修をセットで行う経費の1/2補助を行いました。

事業期間は令和4年2月3日から開始して令和4年11月30日に公募を締め切りました。

補助事業申請の単位



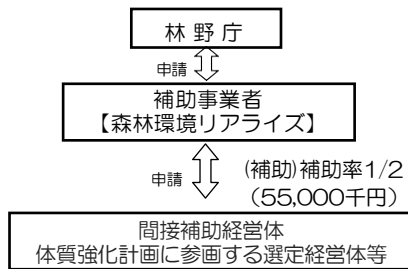
選定した都道府県



選定経営体等の数

| 交付先と件数 | |
|-----------|----|
| 市町村 | 0 |
| 公社・公団・NPO | 4 |
| 森林組合・連合会 | 34 |
| 協同・合同組合 | 3 |
| 株式等民間企業 | 35 |

事業名：令和3年度 林業経営体・林業労働力強化対策（うち林業労働力強化対策事業）
 監督機関：林野庁林政部経営課 林業労働・経営対策室
 補助事業者：(株)森林環境リアライズ
<https://www.f-realize.co.jp>
anzen@f-realize.co.jp



補助予算は55,000千円で、1団体あたり事業費400万円以内（補助率1/2以内）で行いました。

3. 導入された安全衛生装備・装置の概要



導入した防護装備は防護スボン、防護ブーツ、イヤーマフ・フェイスガード付ヘルメットなどです。安全衛生装備では空調服など、安全衛生装置では無線機、かかり木処理用の小型エンジンウインチなどです。その他では救急セット・AEDなどが導入されました。

導入された安全衛生装備・装置品と数・導入平均単価

| 区分 | 品 目 | 導入数 | 平均単価 (円) |
|--------------------------|---------------------|-----------|----------|
| 保護帽 防護衣 安全靴 手袋等 | フェイスガード・イヤーマフ付ヘルメット | 397 | 21,300 |
| | ヘルメット用イヤーマフ | 8 | 22,800 |
| | ヘルメット用空調機 | 3 | 10,000 |
| | 防護衣 (目立つ色彩) | 102 | 13,700 |
| | 空調服 | 466 | 20,800 |
| | 空調服インナー | 165 | 4,900 |
| | 防護スボン | 623 | 27,300 |
| | チャップス | 70 | 15,600 |
| | レインウェア (目立つ色彩) | 136 | 16,700 |
| | 防護ブーツ | 233 | 40,000 |
| | 安全靴 (土場・製材工場用) | 23 | 7,600 |
| | 防振・耐切創手袋 | 428 | 3,600 |
| | かかり木 処理機材 | エンジン式ウインチ | 10 |
| 手動ウインチ | | 1 | 359,000 |
| フェリングレバー・滑車等かかり木処理道具 | | 193 | 16,400 |
| 電動等先 進的機械 | 機械式クサビ | 4 | 185,500 |
| | 電動チェーンソー | 4 | 101,500 |
| | 電動草刈り機 | 2 | 76,000 |
| | 伐倒補助装置 (ガイドレーザー等) | 6 | 55,500 |
| | 研磨機 | 1 | 7,500 |
| | 電動ドリル | 2 | 157,000 |
| 無線等 | 無線機 (付属品含む) | 351 | 69,000 |
| | 衛星携帯電話 | 1 | 227,300 |
| | 測量機器 (付属品含む) | 4 | 232,500 |
| その他 | 繊維ロープ | 20 | 88,500 |
| | ハーネス/ランヤード | 56 | 25,800 |
| | 燃料缶 (消防法適合品) | 4 | 4,200 |
| | 救急セット | 177 | 2,900 |
| | 自動体外式除細動器 (AED) | 3 | 97,500 |
| | その他 (36カメラ、保冷库等) | 6 | 138,800 |



4. 実施された安全衛生に関する研修の概要

研修は国庫補助による安全衛生装備・装置の導入品の地域への普及啓発とともに、安全衛生に関する研修をととして林業労働災害の撲滅を目的としています。

このため、安全衛生装備・装置を活用した研修会の開催は、地域の多くの林業経営体や行政機関の参画を得て開催するようお願いしました。なお、コロナウイルス感染症拡大に配慮して、Webや少人数のビデオ閲覧後にアンケートなどを提出する通信型・分散型研修も行っています。

●林業労働災害対策研修会

林業経営体職員・森林組合職員・市町職員が一同に会して、林業労働災害の実態と法的規制、並びに導入した防護装備・装置による安全対策などの研修を行いました。

●小型ウインチによるかかり木処理研修会

森林組合職員・下請け経営体・県林業普及員・自治体が参集して、導入した安全衛生装備の普及・啓発と、林業労働災害体験VRシミュレーターを使用した安全作業研修会を行いました。



詳細情報：<https://www.f-realize.co.jp/anzenr04/>